

業界レポート

青果卸売業

(野菜卸売業・果実卸売業)



2026年3月

株式会社CCイノベーション コンサルティング部 ソリューショングループ

01. レポートサマリー

02. 基礎知識

03. 業界の動向

04. 今後の焦点

05. CCIのソリューション

01. レポートサマリー

基礎知識

- 青果卸売業界は、出荷者から集めた青果物を、小売業者や加工業者などの業者向けに販売する業界である。
- 2020年6月、改正卸売市場法が施行され、取引規制が緩和された。
- 市場を通さない、市場外取引（インターネットによる直接販売、産地直売所等）が活性化している。

業界の動向

- 卸売市場数は民設市場を中心に減少しており、卸売市場の取扱金額も減少している。
- 青果・果実の卸売市場経由率が低下している背景には、量販店や外食産業の規模拡大により、生産者と小売・実需者が直接取引するケースが増えていることがある。
- 異業種の食品卸や食品スーパーなどの川上企業が青果卸売業界に参入している。

今後の焦点

- 高齢化による生産者の減少、並びに市場数の減少は今後さらに進行すると予想される。
- 卸売業者・仲卸業者同士の連携や、市場間連携の深化が今後必要となるのではないか。

02.基礎知識

青果卸売業界とは

- 青果卸売業界は、出荷者から集めた青果物を、小売業者や加工業者などの業者向けに販売する業界である。
- 青果卸売市場は、卸売業者が全国の生産者や商社から仕入れた青果物を一度市場に集めて、仲卸業者等を通して業者向けに販売する施設のことをいう。

【流通構造】

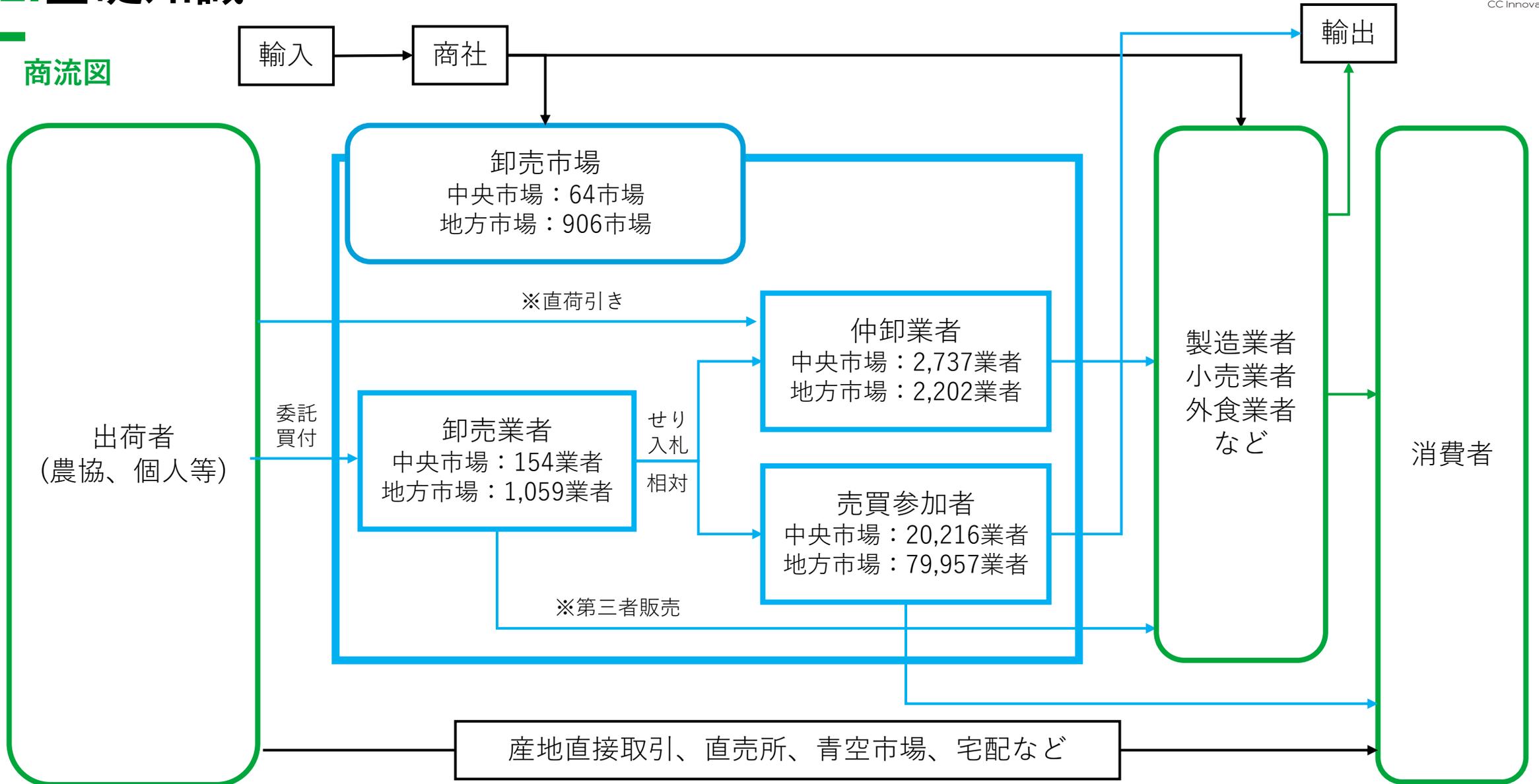


【市場の役割】

集荷・分類	全国から大量に運ばれた青果物を、必要とされる数量・種類に分け、業者に提供する
価格形成	公正な商品取引がされるように、毎日の取引結果を公表している
代金決済	出荷者の所得の安定のため、代金を速やかに確実に支払う
情報の受発信	産地と販売先とのかけ橋として、商品の売れ筋情報や産地の生産情報を収集・発信する

02.基礎知識

商流図



※第三者販売及び直荷引きについては、市場によっては業務規程において、その取引を制限している場合がある。

〔出所：農林水産省「卸売市場をめぐる情勢」より当社作成〕

02.基礎知識

卸売市場法改正

- 卸売市場法は、2018年6月22日改正、2020年6月21日に施行された。
- 改正の目的は、取引規制を緩和し、市場の機能を維持・活性化させることである。

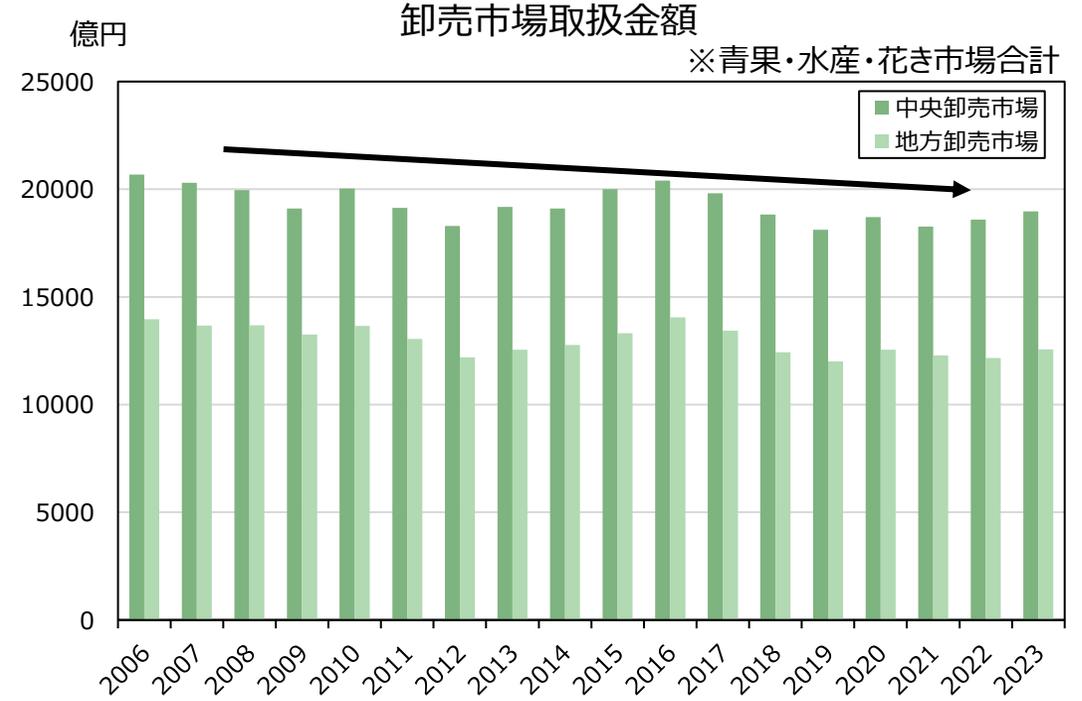
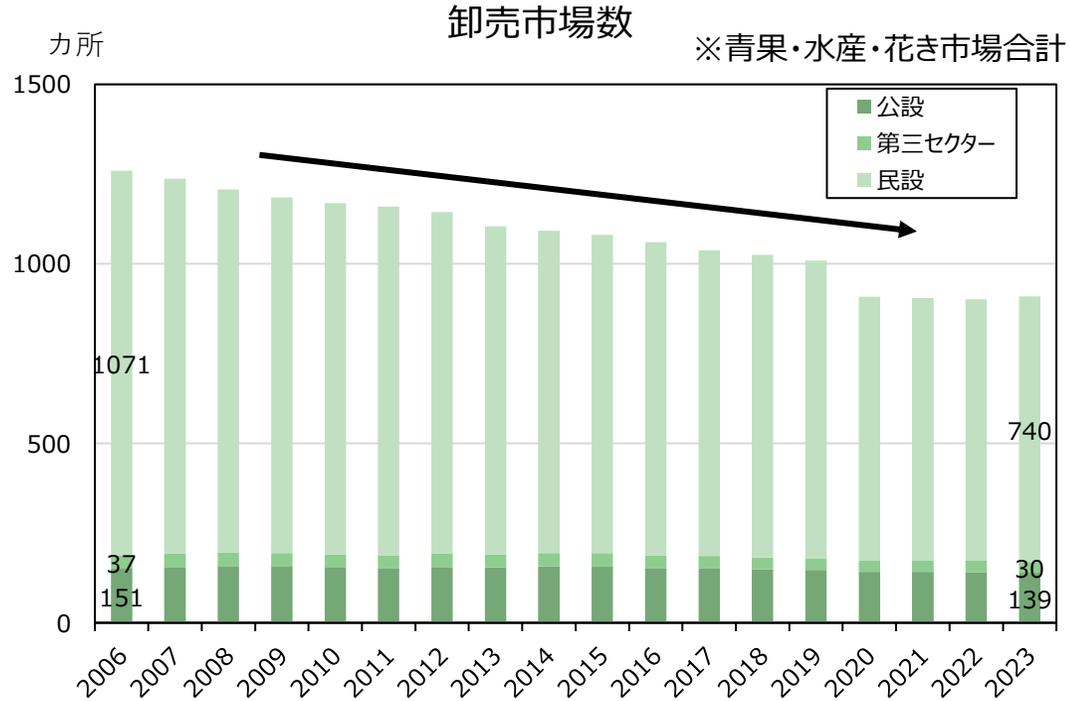
<改正のポイント>

市場の開設に関する法改正
中央卸売市場を民間業者が開設可能となる →中央卸売市場の運営は地方公共団体のみであったが、農林水産大臣から認可されれば民間業者も開設可能となった
取引規制に関する法改正
「第三者販売の禁止」の廃止 →仲卸業者・売買参加者以外にも販売が可能になり、小売業者の仕入コストの削減が期待できる
「直荷引きの禁止」の廃止 →産地と仲卸業者が直接取引可能となり、小売業者に要望に合わせた調達が可能となる
「商物一致」の廃止 →仲卸業者が仕入れた食材を、産地から小売業者へ直送でき、より鮮度の良い食材を提供できる

03.業界の動向

卸売市場数・取扱金額

- 卸売市場数は民設市場を中心に減少している。
- 卸売市場の取扱金額は中央・地方卸売市場ともに減少している。



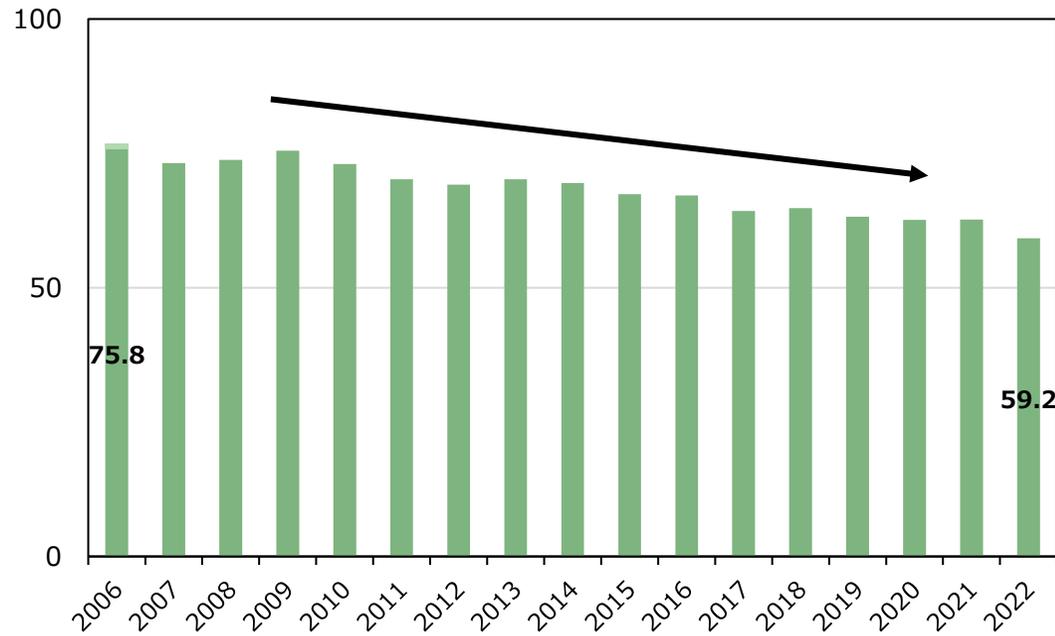
〔出所：農林水産省「卸売市場データ集」より当社作成〕

03.業界の動向

卸売市場経由率

- 青果・果実の卸売市場経由率が低下している背景には、量販店や外食産業の規模拡大により、生産者と小売・実需者が直接取引するケースが増えていることがある。
- 加えて、物流やITの発達で産地からの安定供給や品質管理が可能となり、市場を介さない調達が容易になった。また、市場手数料や価格変動リスクを避けたいという双方の意向も、市場離れを後押ししている。

野菜の卸売市場経由率



果実の卸売市場経由率



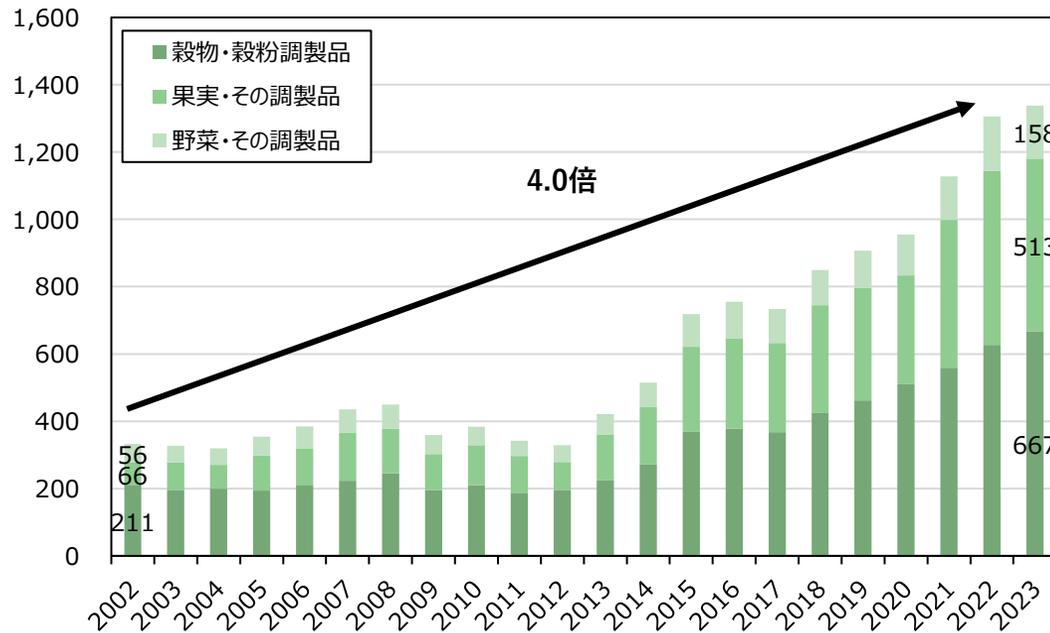
〔出所：農林水産省「卸売市場データ集」より当社作成〕

03.業界の動向

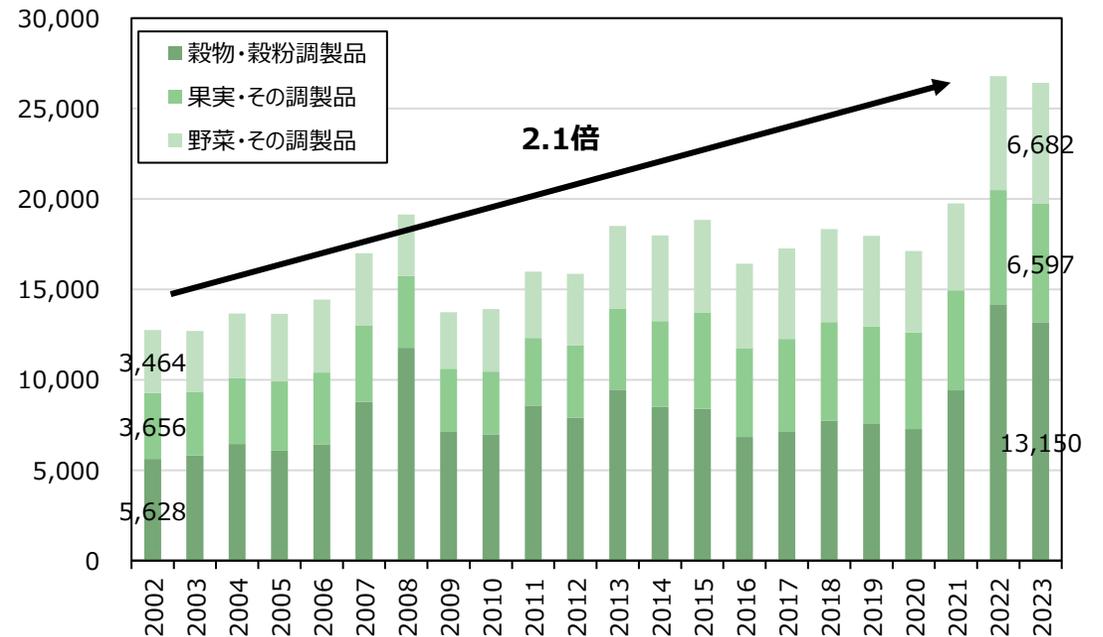
青果物輸出入

- 輸出金額は、2013年より増加しており、2021年には1,000億円を超えて推移している。
- なかでも、「果物・その調製品」の増加率が高い（7.8倍）
- 輸入金額は、この20年間では倍増している。

年度別輸出金額（億円）



年度別輸入金額（億円）



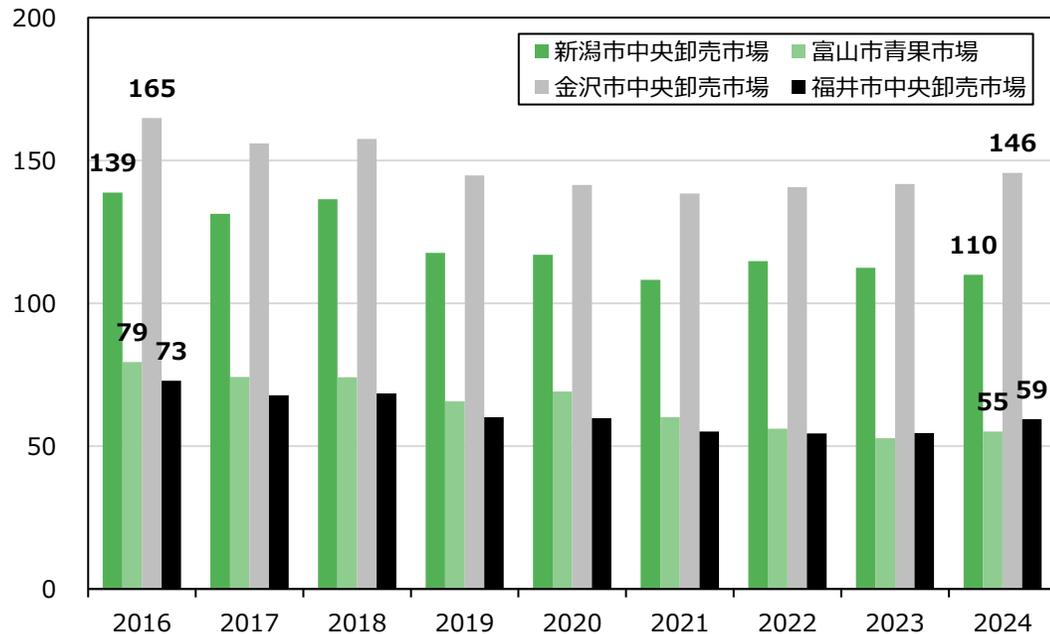
〔出所：農林水産省「農林水産物輸出入情報」より当社作成〕

03.業界の動向

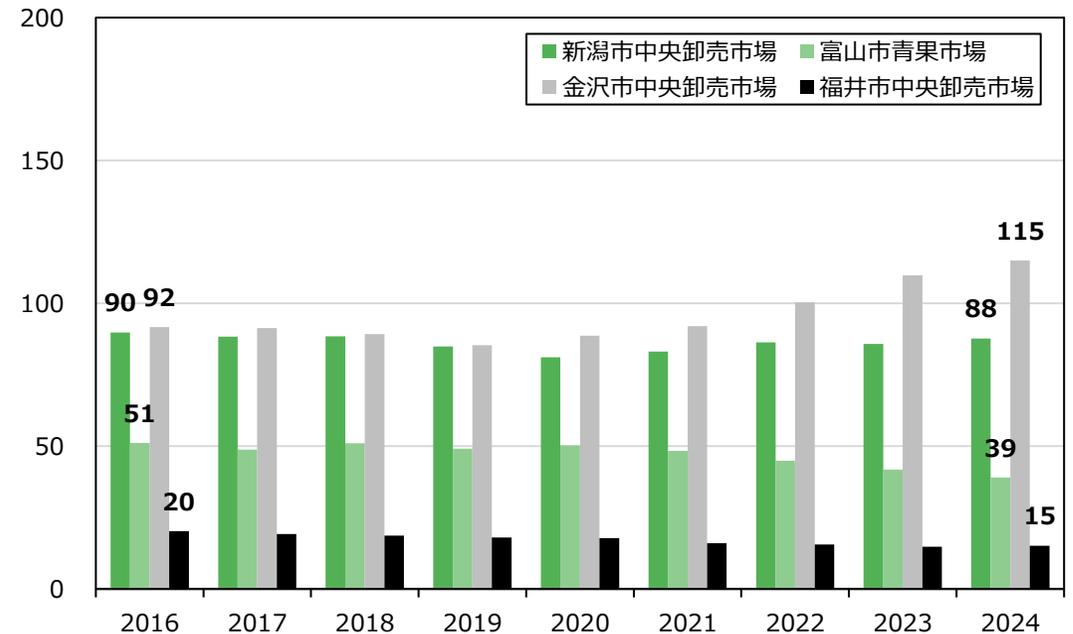
北陸地域の市場動向

- 野菜の卸売価額は、4市場（新潟、富山、石川、福井）ともに1割以上減少している。
- 果物の卸売価額は、金沢市中央卸売市場では高単価品の取扱比率上昇、インバウンド回復による需要増を背景に増加傾向にある。

北陸の野菜卸売価額（億円）



北陸の果物卸売価額（億円）



〔出所：農林水産省「青果物卸売市場調査」、富山市公設地方卸売市場年報より当社作成〕

04. 今後の焦点

業者間・市場間連携の深化

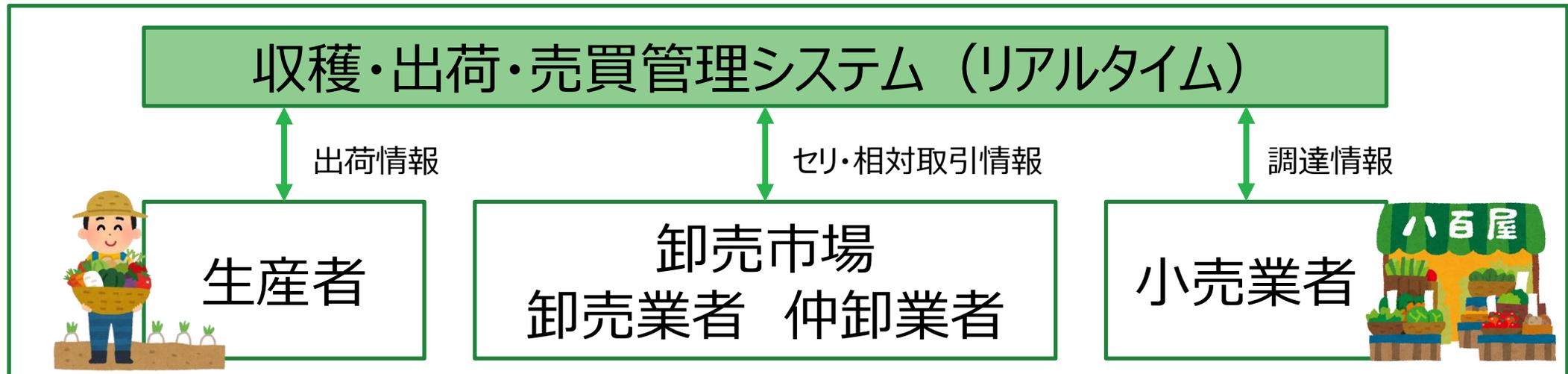
- 卸売市場法改正により、卸売市場の取引ルールが緩和され、他市場、他業界との連携が活発化している。
- 高齢化による生産者の減少、並びに市場数の減少は今後さらに進行すると予想される。
- 卸売業者・仲卸業者同士の連携、市場間連携の深化が今後必要となるのではないか。

< 想定される取り組み >

ICT連携

生産者、卸売市場、小売業者が同じシステムを利用し、リアルタイムで情報共有をする。

出荷情報のリアルタイムでの把握や、セリ・相対取引の電子化などにより、業務効率化が期待できる。



コンサルティングメニュー

経営戦略

- 経営理念、ビジョン策定
- 経営計画の策定
- 個別施策の立案

デジタルマーケティング

- Web広告導入、運用支援
- SEO改善支援
- メールマーケティング支援

業務効率化

- BPR企画・立案
- クラウド会計を活用した事務効率化
- 各種業務のマニュアル化

コストマネジメント

- 原価管理体制の構築
- 物件費削減に関する助言
- アウトソーシングの受託

人事制度・人材育成

- 人事評価制度の策定
- 賃金制度の設計
- 階層別・専門別研修の実施

海外展開

- 海外販路の開拓
- 海外拠点の設立に関する支援
- 貿易手続に関する助言

人材紹介

- 最適な人材マッチング
- 独自のネットワーク
- 人材定着サポート

ICT

- システム導入・更改のサポート
- 独自アプリによる生産性向上
- 社内コミュニケーションの活性化

M & A ・ 事業承継

- 企業の売却・買収のコーディネート
- 企業価値算定に関する助言
- 経営の承継に向けた社内体制整備



- CCIではお客さまの課題を明確にとらえ、お客さまに最適なソリューションを提供します。
- CCIグループ各社、各業務提携機関がお客さまの成長戦略をご支援します。

- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、CCイノベーションとのお取引を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている意見などはCCイノベーションが信頼に足り、且つ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、その正確性、确实性を保証するものではありません。なお、本資料は、作成日において入手可能な情報等に基づいて作成したものであり、金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が不正確なものになる可能性もあります。
- 本資料のご利用は、お客さま御自身の判断でなされるよう、また、必要な場合には顧問弁護士、税理士などの各種専門家にご相談いただきますようお願いいたします。
- 本資料の著作権はCCイノベーションに帰属し、本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じます。



当社のコンサルティングに
詳しい詳細はこちら

お問合せ



専門コンサルタントが
ご相談を承ります。
お気軽にご連絡ください！

LinkedIn



コンサルティング事例やセミナー情報を発信中
ぜひフォローをよろしくお願いします！

Facebook

